新発田市　令和８年度　第９回定例記者会見（概要）

１　日　時　　令和８年１１月２５日（水）午前 11 時～
２　場　所　　ヨリネスしばた５０１会議室
３　内　容

【市長発表項目】

一般事項

〇今・得キャンペーン 2027【冬の陣】の受付スタート！

新発田のおいしい料理と温泉をお得に楽しむ冬のプランを PR

〇当市初！『新発田市若者支援ガイドブック』が完成！

県内でも先進的な若者支援の取り組みを PR

〇「2026 しばた人権フェスティバル」開催

様々な催しを通して人権に関する理解を深めるイベントを PR

〇しばたみらいエコチャレンジ 2026 を開催します！

しばた人権フェスティバルと同日開催。

こどもたちが地球環境のみらいについて楽しく学ぶイベントを PR

【その他】

〇新発田市除雪隊結団式
〇令和 8 年度「学校給食週間」の実施について
〇令和 8 年冬の交通事故防止運動「飲酒運転根絶呼びかけ活動」
〇義士祭
〇高齢者等安心サポート事業所登録制度
ToMoNi Shibata（通称：ともしば）市内郵便局登録証交付式
〇つながりの居場所づくりフォーラム～全市版おたがいさま講座～
〇令和 8 年度市民表彰式
新発田市制施行 80 周年記念　令和 9 年新発田市新春を祝う会

あいさつ

○寒い中お集まりいただき、ありがとうございます。今年は、秋らしい日がほとんどなく、夏も冷夏でした。長期予報では、暖冬小雪とのことですが、一時期に降雪が集中しドカ雪になれば、やはり24時間体制で除雪をせざるを得ません。理想的には、少し降って消え、また、少し降って消える、そういう冬になってほしいと思っているところです。

○この度の市長選で当選させていただき、市民の皆様には感謝を申し上げます。大方の予想では選挙になるだろうと言われており、実際、そのような動きもありました。無投票の阻止、多選批判が争点になるだろうとも言われていましたが、受けて立つ側としては難しい選挙になるだろうと考えていました。多選批判はまちづくりが争点になるものではなく、4期16年の二階堂市政に対する信任投票です。結果として無投票になった訳ですが、これまでの16年間の市政がしっかりと評価され、「もう1期がんばってみろ」というのが市民の判断だったと思います。2期連続で無投票となりましたが、「しっかりやれよ」「二階堂頑張れ」というエールも含めての信任でありますことから、気を緩めることなくより一層頑張ってまいりたいと思っております。

○ご案内のとおり、私は毎年一つの言葉を胸に刻んで市政を運営しており、今年は「明」としていました。市民の皆さんからは物価高だったり、中小企業の経営者の皆さんからすると人件費が高騰していたりするなど、明るい話題が少なかったことから、せめて「まちづくり」だけは明るくしたいとの思いから「明」とさせていただいたものです。来年は、市制施行 80 周年の節目の年でもあり、「義」にしたいと思っています。「義」の言葉をもっとも重んじた方は上杉謙信公です。「天下を取るは小事にすぎず、それよりも義を貫いて生きるが大事」「義は人として人たりうる生きるための美しさ」と言っています。これになぞらえて言えば「城下町として新発田たりうる美しさ」と言えるのではないでしょうか。まちづくりにおいて、奇をてらったり話題性を狙ったりするようなものではなく、80 年に渡り先人たちが築いてきたこの城下町の歴史をしっかり踏まえて、農業や教育を基軸に置き、まっとうで真っ直ぐなまちづくりを進めていきたい。そういう意味で「義」といたしました。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、今・得キャンペーン 2027 冬の陣、受付スタートについてです。

○物価高騰の影響が長引く中、市の重要な産業の一つである、観光業への支援としまして、8 月から 10 月にかけて実施した秋の陣に続く、「今・得キャンペーン 2027 冬の陣」を、観光需要の谷間となる年明け1月 5 日から卒業旅行シーズン前の 2 月 28 日まで実施することとし、このキャンペーンの予約受付を、来週、12 月 1 日から各旅館・ホテルにて開始いたします。

○月岡温泉では、客室稼働率が低い、日曜日から木曜日の宿泊を対象として需要喚起するとともに、その平準化を図っていきます。その他の市内旅館・ホテルでは、ビジネス利用の多い平日に絞らず、観光需要での宿泊が多い休日も対象に含め、市街地観光の後押しを図ってまいります。

○これまで同様、各施設で用意する対象プランで宿泊した場合、1 泊 2 食の宿泊プランでは、5,000 円を、朝食のみと素泊まりプランで 2,000 円を割り引くこととし、当市自慢の新発田牛（うし）を使った料理が楽しめる、特別な宿泊プランも御用意いたします。

○この機会に、今年の冬も、多くの方に新発田にお越しいただき、おいしい料理と温泉、観光を思う存分お楽しみいただきたいと思っております。

次に、『新発田市若者支援ガイドブック』完成、についてです。

○これまでは、中学校や高等学校の卒業など、所属機関が変わるタイミングで、頼れる支援先がわかりにくくなったり、支援を失ったり、途絶えがちになることが課題となっておりました。

○この度、迷いや困難を抱えている若者が相談する機会を得ることによって、新たな視点や選択肢を広げ、危機を乗り越え、その延長線上にあるひきこもりや自殺の予防に寄与することを目的に、学校や生活・就業・福祉・医療など、多くの機関が連携し、若者支援の情報を一元化した、当市初の『新発田市若者支援ガイドブック』を作成しました。

○ネット社会の時代ですが、ネットの情報は意識化が難しいと言われるため、あえて紙媒体でも提供することといたします。冊子で提供することで、学校で先生と一緒に見る、家に帰ったとき一人で読み返す、保護者と一緒に確認するなど、様々な使い方ができます。

○新潟市や上越市でも同様のものはあるようですが、当市の特徴的な取組としては、掲載している支援機関の範囲が広いだけでなく、ガイドブックを作って配って終わりにしない。本当に必要な時に使ってもらえるように、中学校の入学説明会にて、小学校 6 年生の児童の保護者の皆様に向けて、相談することの重要性を伝えるとともに、ガイドブック活用への意識付けを行います。

○この意識付けこそが、県内でも先進的な取組であり、今後も「切れ目のない伴走型の若者支援」の体制づくりを推進してまいります。

次に、「２０２６しばた人権フェスティバル」の開催についてです。

○一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしく暮らせるまちをめざして、今年も「しばた人権フェスティバル」を開催します。

○このフェスティバルは、子どもから大人まで幅広い世代の皆様に、人権について身近に考えていただくことを目的に、様々な団体と協力し、毎年開催しております。

○今年は、健康長寿アクティブ交流センターとヨリネスしばたの2会場で、子どもたちによる人権標語・作文の発表や表彰、笑いを交えながら共生社会について考えるトークライブ、子どもたちが遊びを通して社会の仕組みや権利について学ぶ「ミニしばた」など、様々な催しを予定しています。

○このイベントの目玉の一つである、こどもがつくるこどものまち「ミニしばた」は、敬和学園大学と連携して開催しており、今年で3回目となります。ヨリネスしばたを小さな都市「ミニしばた」に見立て、こどもたちが、市民登録、仕事、納税、買い物などを体験しながら、「自分で考え、まちを動かす」ことを学べるプログラムとして毎年好評を頂いております。

○また、今年は、「しばたみらいエコチャレンジ」や障がい者理解促進に関する催しも同日開催し、更なる賑わいと、環境や福祉についても学べる機会となることを期待しています。

○ぜひ多くの皆様にご来場いただき、イベントを通して、お互いの違いや個性を認め合い、誰もが自分らしく暮らせる社会について、考えるきっかけにしていただきたいと思います。

次に、しばたみらいエコチャレンジ２０２６（ニーマルニーロク）についてです。

○当市は、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して、市民の皆様への情報発信と環境活動を実施しています。

○このたび、子どもたちが環境について学び、未来の地球のために自分たちができることを考え、行動するきっかけとして、「しばたみらいエコチャレンジ２０２６（ニーマルニーロク）」を開催します。

○我がまち新発田には、悠久の歴史が育んだ加治川をはじめとする清らかな水と肥沃な大地、海から山までの多様な自然があります。

○この豊かな自然を、地球温暖化や気候変動から守るためには、環境問題について、未来を担う子どもたちが主役となり、自分たちにできるエコ活動を考え、実践していくことが重要です。

○特に大切にしたいのは、子どもたちの「発信する力」です。学んだことや気づきを家族や友人、地域の皆さんに伝え、広げることで、社会の意識や行動を変えるきっかけを作ります。このきっかけを作る場として、小学校２校による学習発表を行います。

○子どもたちの小さな一歩が家庭を変え、地域を変え、新発田の未来を変える力となるよう、世代を超えて環境を守る輪を広げてまいります。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を御支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。